

サマリー

中国の石油需要：その動態と今後の展望

戦略・産業ユニット石油グループ リーダー 小林 良和
“ 研究員 松本 知子

本稿では、石油需要の増加を続ける中国について、現時点で入手可能な統計データや情報を基に、中国の石油需要増加の要因や今後の動向に関して検討を行った。

まず、中国の石油需要に影響を及ぼす要因の中でも特にマクロ経済が重要であり、今後の中国の石油需要の動向を考える上で、マクロ経済の動きが決定的な鍵を握るということが確かめられた。2008年11月に行われた大規模な景気刺激策が石油需要にもたらした影響（2009年の秋にかけては、公共投資の増加に伴い軽油需要を中心にその「底上げ」効果が見られたが、2009年秋以降は、景気刺激策の重点が投資から消費にシフトしたのに合わせてガソリンの需要の伸びが大きく見られた）からも、マクロ経済の重要性が窺える。

今後の短期的な石油需要の動向としては、景気刺激策の効果切れや中国政府によるマクロ経済政策、省エネ政策などの要因から、2011年にかけて石油需要の増加は減速すると考えられる。また、中長期的な石油需要については、経済成長やそれに伴うモータリゼーションの進展に伴って高い需要の増加が見込まれるが、その一方で、今後の次世代自動車導入や政治経済情勢次第では、その需要も主要機関が想定しているほど伸びない可能性もある。

お問合せ: report@tky.iecej.or.jp